

# こもろ 市議会だより

No. **165**  
平成28.4.20



2月臨時会・3月定例会

6月定例会は、6月6日(月)開会の予定です



坂の上小学校入学式

**平成28年度  
予算を可決**

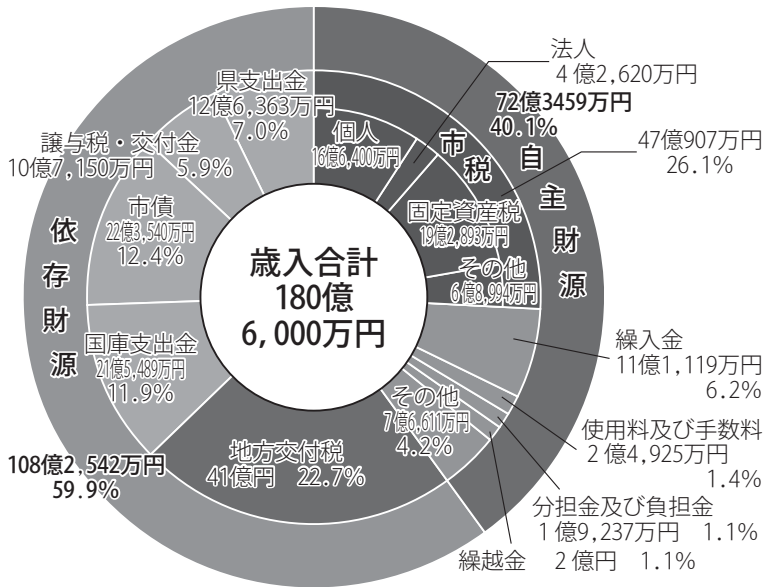
## 主な内容

- 特集 平成28年度予算 …………… 2～3ページ
- 3月定例会の概要 …………… 4～5ページ
- 常任委員会報告 …………… 6～7ページ
- 代表質問（6名）…………… 8～12ページ
- 個人質問（11名）…………… 12～17ページ
- 議会制度改革検討委員会・  
議員紹介コーナー …………… 18ページ
- 特別委員会報告 …………… 19ページ
- 議会と語る会  
傍聴席・編集後記 …………… 20ページ

# 一般会計当初予算 180億6,000万円

## (前年度比7.6%減) を議決

### 歳入



### 予算の概要

平成28年度の一般会計予算の総額は、180億6千万円で、7.6%減となりました。

今年度は市長選があるため骨格予算にとどめましたが、「小諸市版総合戦略」に掲げた人口減少に歯止めをかける取り組みなど喫緊の課題については、必要な予算が計上されました。

### 平成28年度予算の特徴

- ① 市長選があるため政策的な経費や新規事業を抑えた「骨格予算」
- ② 「人口減少に歯止めをかける」取り組みに予算措置

## 市民一人当たりの歳出 約42万円 (一般会計)

政策別での内訳は、

<p>1 子育て、教育 23億8,390万円 一人当たり 55,214円 (一人当たり増減 6,550円)</p> 	<p>2 環境 18億408万円 一人当たり 41,784円 (▲17,003円)</p> 	<p>3 健康・福祉 67億8,623万円 一人当たり 157,176円 (36,368円)</p> 	<p>4 危機管理・生活基盤整備 20億5,878万円 一人当たり 47,683円 (▲7,581円)</p>  <p>こもろ愛のりくん</p>
<p>5 産業・交流 15億1,392万円 一人当たり 35,064円 (▲5,183円)</p> 	<p>6 協働 6,546万円 一人当たり 1,516円 (269円)</p> 	<p>7 行政経営 34億4,764万円 一人当たり 79,851円 (▲45,425円)</p> 	<p>(内) 借入金返済 (15億9,782万円) 一人当たり 37,007円 (1,049円)</p> 

※人口43,176人で計算 (平成28年3月1日現在外国籍住民を含む)

当初予算案に対して二つの修正案が提出されたが、賛成少数で原案可決

**日本共産党の修正案**  
「同和対策関連予算は真の同和差別の解消のために認められない」

**修正案に賛成討論**

同和団体への補助金、委託料を出し続ける「行政支援の在り方」は、同和差別の解消を遅れさせている。長い間続けた事業で改善が見られないから方法を見直すべき。現

在交付されている補助金等の行政監査を求める。社会教育の中で、人権を尊重したまちづくりをすることが大切。

解放子ども会の活動は、お互いを尊重し合う人権教育の中で対応すべき。

**修正案に反対討論**

人権政策費の運動団体に対する委託料・補助金及び解放子ども会の運営

経費である人権同和教育促進事業に要する予算計上は、未だ差別事象などが発生し、部落差別の解消が図られていない現状では、行政の責務として引き続き取り組みが求められる適切な予算編成である。委託料・補助金は、厳しい財政状況を考慮し、前年より減額となつていくことから修正案に反対。

**議員提出の修正案**  
「野岸小学校の改築はしっかりと手順を踏んでから予算計上すべき」

**修正案に賛成討論**

小諸市のまちづくりの重要課題である学校再構築計画とは分けて、特別

とする「野岸小学校の改築が必要である理由」を市民の皆様へ伝える義務があり、その責任を果たしてから予算計上するの

が道理であるとの考えから修正案に賛成。

仮設校舎の建設は認めており、改築を否定している訳ではなく、学校の再構築を判断するのは「市民の皆様」であると考えている。

**修正案に反対討論**

「小諸には大きな災害はない」という感覚は、議員には許されない。野岸小学校南校舎は、幾多

の思い出の詰まった校舎ではあるが、子どもたちと教職員の方々の命と安全を最優先に、解体設計の予算を認め、一日も早く危険な状況を解消すべきだ。

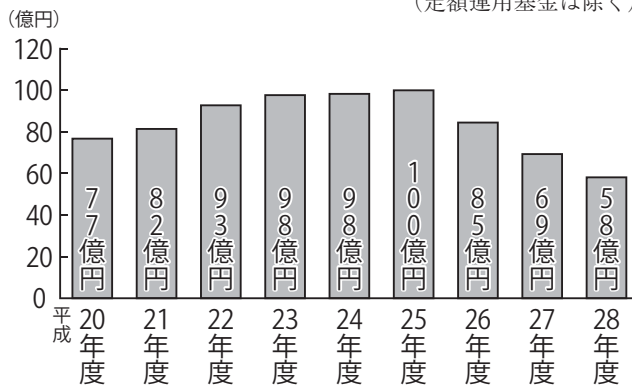
「学校改築計画」との整合性を考慮すべきとの意見も理解でき、議案提出までの教委の姿勢には激しく抗議する。ただ子どもたちと地域の方々の思いを受け止めるべきだ。

平成28年度  
特別会計・企業会計予算

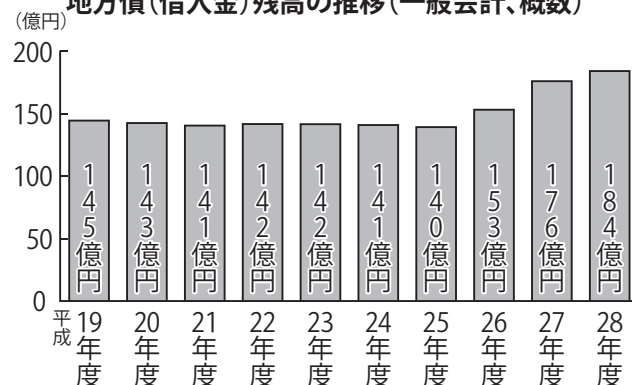
公平委員会	23万円
国民健康保険事業	55億1,600万円
後期高齢者医療	4億2,850万円
介護保険事業	39億500万円
奨学資金	596万円
住宅新築資金等貸付事業	5,700万円
農業集落排水事業	2億4,190万円
小諸公園事業	1億3,000万円
野生鳥獣商品化施設運営事業	1,270万円
高峰財産区	275万円
御牧ヶ原財産区	155万円
古牧財産区	216万円
滋野財産区	52万円
乗瀬地区市有地管理事業	119万円
水道事業	収益的支出 9億8,143万円
〃	資本的支出 4億509万円
公共下水道事業	収益的支出 12億5,014万円
〃	資本的支出 10億5,758万円

基金残高の推移(一般会計、概数)

(定額運用基金は除く)



地方債(借入金)残高の推移(一般会計、概数)



# まちづくりの羅針盤となる 小諸市総合計画第5次基本構想

ほか59議案可決

平成28年第2回3月市議会定例会が2月23日に召集され、3月16日までの23日間の日程で開かれました。本定例会では理事者から平成28年度一般会計予算、条例等の55議案が提出されました。  
また、議員より平成28年度一般会計予算に対して二つの修正案が出されましたが、採決の結果、賛成少数で否決され、結果、議員発議を含めた59議案を原案可決としました。

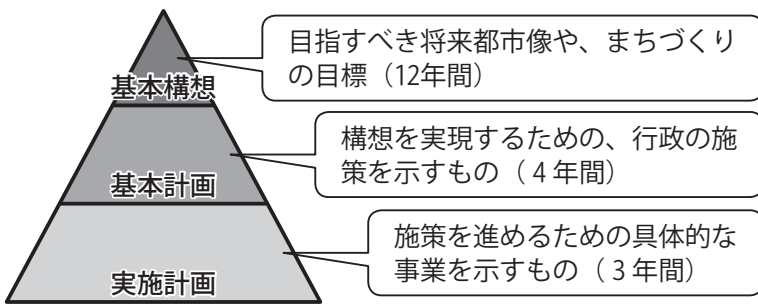
## 主な議案

小諸市総合計画第5次基本構想  
特別委員会を審議のために設置

小諸市第5次基本構想の策定について

まちづくりの羅針盤となる基本構想策定の審議のため、本定例会では特別委員会を設置し、審議しました。

平成28～39年度までの12年間を計画期間とし、将来都市像、地域別まちづくり方針、政策分野別まちづくり方針を策定するものです。(P19特別委員会報告を参照)



◆条例  
小諸市国民健康保険条例の一部を改正する条例

4月からの佐久平斎場の供用開始により施設使用料が増額となることから、国民健康保険の葬祭費を3万円から5万円に改めるものです。

小諸市移住体験施設条例  
人口減少を食い止めるための移住施策を推進するため、移住体験施設の設置及び管理に必要な事項を定めるものです。



体験施設は東雲区に設置し、移住希望者に無料で提供します。

小諸市野生鳥獣商品化施設運営事業特別会計条例  
シカ肉をペットフードとして商品化する施設の円滑な運営と経理の適正化を図るため、特別会計を設置するものです。

小諸市消防団条例  
制定から60年が経過した「小諸市消防団員条例」、昭和40年制定の「小諸市消防団の設置、名称及び区域に関する条例」を廃止し、新たに消防団の設置等について定めるものです。

小諸市文化財保護条例

文化財保護法に合わせ小諸市文化財保護条例の全部改正を行うものです。

## 意見書

次の意見書を内閣総理大臣ほか関係省庁へ提出しました。

● TPP協定を国会で批准しないことを求める意見書

## 人事

今定例会では、次の委員会の委員を選任同意しました。

人権擁護委員

黒田 説榮氏(荒町区)  
田澤 幸枝氏(赤坂区)

小諸市固定資産評価審査委員会委員

宮坂登志雄氏(天池区)

御牧ヶ原財産区管理委員

鈴木 績氏(諏訪山区)

## 臨時会

2月2日に平成28年第1回市議会臨時会が開催され、次の方を監査委員に選任同意しました。

小諸市監査委員

佐藤 龍彦氏(石峠区)

### 3月定例会概要

## 討 論

### 委員長報告に賛成討論

次の二つの請願は、国へ意見書の提出を求めるものですが、不採択とした委員長の報告に対して討論がありました。討論後に採決をした結果、二つの請願ともに不採択となりました。

◆「集団的自衛権」行使を具体化し、戦争につながる安全保障関連二法のすみやかな廃止を求める請願

委員長報告に反対討論  
第一に、憲法違反の法律であること。ほとんどの憲法学者など憲法の専門家が憲法違反の法律と言っている。

第二に、この法律で日本が戦争する国になる。自衛隊が海外で米軍などと作戦行動に参加し武器の使用も可能になる。

第三に、外国の人を殺せば日本は敵国とみなされテロなど攻撃の対象になる。日本国民の命が危

ぶまれる事態が生じる。

「平和安全法制」の条文に何が書いてあるのか虚心坦懐に読んでほしい。

他国への攻撃などで日本の存立が脅かされる事態が生じた際の武力行使の要件を規定。憲法の下で許容される武力行使の限界を「自衛の措置の新しい要件」によって定めている。責任ある政治の役割は国民を守るといふ責任を果たし切ること。ただ反対、廃止と叫ぶだけでは、あまりにも無責任である。

◆米軍輸送機CV22(空軍)・MV22(海兵隊)両オスプレイの飛行訓練に反対し、飛行中止を求める意見書提出の請願

委員長報告に反対討論  
オスプレイの危険性として、第一に、構造上の欠陥がある。開発段階から運用段階でも事故が相次いでいる。第二に、小諸市上空で訓練飛行を行

うCV22は海外で特殊作戦を行うもので、夜間に超低空で敵地に潜入して作戦行動を行うものだ。

このような特殊訓練を米軍のオスプレイが小諸市上空で行うことは、住民の安全を脅かすものであり許されない。

### 委員長報告に賛成討論

県においても防衛大臣に対しても防衛大臣の要請をはじめ、質問書や要請が県知事名で提出されている。直近では北関東防衛局次長に対して運用等に関する質問書が提出されており、自治体の意見や要望が盛り込まれた形になっている。これらの質問書に対する回答を検討していくとの意向を示していることから、現段階では原案に賛成する。

## 請 願 ・ 陳 情 の 審 査 結 果

種類	件 名	氏 名	結果
請願	T P P協定を国会で批准しないことを求める請願	佐久農民センター 布施 勝次	採 択
	「集団的自衛権」行使を具体化し、戦争につながる安全保障関連二法のすみやかな廃止を求める請願	憲法九条を守るこもろの会 会長 依田 発夫	不採択
	米軍輸送機CV22(空軍)・MV22(海兵隊)両オスプレイの飛行訓練に反対し、飛行中止を求める意見書提出の請願	憲法九条を守るこもろの会 会長 依田 発夫	不採択

## 議案に対する表決状況

本欄に記載以外の議案については全会一致で原案可決されました。●は賛成、○は反対を表しています。

議 案 名	高橋 公	土屋 利江	掛川 剛	小林 一彦	丸山 正昭	山浦 利夫	早川 聖	竹内 健一	柏木 今朝男	神津 眞美子	清水 喜久男	依田 善典	中村 憲次	小林 重太郎	田中 寿光	福島 鶴子	柏木 博美	林 稔
平成28年度小諸市一般会計予算に対する修正案(日本共産党) ※1	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度小諸市一般会計予算に対する修正案(議員提出) ※1 ※2	○	●	-	○	●	○	-	●	●	○	●	○	●	○	○	○	-	○
平成28年度小諸市一般会計予算 ※1 ※2	●	○	-	●	○	●	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
「集団的自衛権」行使を具体化し、戦争につながる安全保障関連二法のすみやかな廃止を求める請願 ※1	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
米軍輸送機CV22(空軍)・MV22(海兵隊)両オスプレイの飛行訓練に反対し、飛行中止を求める意見書提出の請願 ※1	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※1 議長は表決には加わりません。 ※2 「-」は退席した議員。

3月7・8日  
文教委員会  
報告

■小諸市消防団条例

質疑

小諸市消防団員条例等の見直しを行い、新たに小諸市消防団条例を制定することのだが、変更となった事項はどうか。

答弁

旧条例では、消防団員は「小諸市の区域に居住する者」であったが「小諸市内に居住し、又は勤務し、若しくは在学する者」に変更し、団員の確保を図ります。



■平成27年度一般会計補

正予算(第8号)

質疑

アスベストは、水明小学校のどのような場所に

使用されていたのか。また、いつどのように除去するのか。

答弁

給食棟のボイラー室の煙突内面に使用されていました。工事については子どもたちに影響のないよう適切な時期に実施したい。

■平成28年度小諸市一般会計予算

質疑

野岸小学校の管理棟の解体及び改築の設計委託料が計上されているが、耐震診断の結果はどうか。

答弁

最終の診断結果の報告は3月末に出るが、中間報告は「解体が望ましい」であった。

《野岸小学校改築設計委託料に対する討論内容》

委託料を認めない委員

●耐震結果も出ない状況では次期尚早、結果を見てから予算計上し、学校改築計画とは別とする説明をすべきである。

●建物を建替える理由及び建てる校舎の大きさや

費用の説明を市民の皆様も議会も受けていない。委託料を認める委員

●学校改築計画の懇談会

や野岸小の説明会での地域の方々の声をしっかりと受け止める。

●今、在学中の子どもに負担をかけられない。

※採決の結果、反対4名賛成1名で、委員会としては認めないものと決しました。

質疑

信州小諸ふるさと応援寄附金を小諸市の観光振興につなげるため、宿泊券の返礼など観光協会との連携はどうか。また、返礼品の開発はどうか。

答弁

観光協会、商工会議所等との連携はもとより、豊富なノウハウを有する民間業者に委託することにより、魅力的な返礼品の開発を行い寄付の増額につなげたい。

質疑

消防団員及び災害活動の補助をした市民の災害補償はどうか。

答弁

公務災害で死亡及び負傷した者に公務災害補償を行っている。

質疑

50mプールは廃止し、流水プールは継続とのことだが、公共施設全体の中で中長期的に検討すべきではないか。

答弁

公共施設等総合管理計画を作る中で検討しているが、費用対効果を含めて様々な角度から検討を行っています。

■平成21年度から23年度

にかけて国の補助金を活用し、市内の防犯灯・街路灯の1/3にあたる千600灯をLED灯へ切替えた。

質疑

1灯当たりの切替え工事が高額なため、一気に進めることができないが、平成27年度から各年度50灯を切替える計画のもと28年度も進める予定です。

答弁

実施計画書にLED防犯灯への交換を計画的に進めるとあるが、進捗状況はどうか。

質疑

市役所高齢福祉課内に事務所を設置し、主任ケアマネージャー、社会福祉士、保健師各1名の体制でスタートしたいと考えています。

質疑

平成28年度水道事業会計予算

質疑

小諸市上水道基本計画策定の進捗状況はどうか。

答弁

計画の基本となる配水計画の部分で手間取っているが、平成28年度中に策定したい。

質疑

今後の水資源確保の見通しと経営状況はどうか。

答弁

水資源は十分供給できる状態であり、経営については、管路などの老朽施設更新の費用と総収益のバランスを考慮し計画的な施設更新を行いたい。

3月8・9日  
福祉環境委員会  
報告

■平成28年度小諸市介護保険事業特別会計予算

質疑

包括的支援事業によりケアシステム構築を推進するため基幹型地域包括センターを開設することにつき、人員などの体制はどうか。

答弁

戸籍や住民票のコンビニ交付について費用対効果はどうか。

質疑

現在、佐久定住自立圏の枠組みで国の交付金を受けることを前提に検討を進めています。マイナンバーカードの普及とともにコンビニでの交付が進めば窓口業務が軽減され人員削減につながると期待しています。

質疑

民生児童委員は高齢者の見守りなど業務が増大しているが、委員を増やすことはできないか。

答弁

委員の負担増は認識し

質疑

委員の負担増は認識し

答弁

委員の負担増は認識し

ています。人数は県の条例で決まっている中で、現在4名の増員を県へ要望しています。

**質疑**

平成28年度実施計画の中で、介護施設の整備開設とあるが、具体的な計画はどうか。

**答弁**

地域密着型介護老人施設を和田区と小原区に、小規模多機能型居宅介護施設を和田区に開設する予定となっています。

**質疑**

自立相談支援事業について、昨年1年間の実績はどうか。

**答弁**

生活保護になる前段の方の支援を行いました。プランを立て支援を行なった件数は27件、その内一般就労に結び付いた方もおり、一定の効果があつたと考えます。

**平成27年度小諸市一般会計補正予算(第8号)**

**質疑**

マイナンバーカードの発行事務と発行件数の状況はどうか。

**答弁**

個人カード発行事務は、1件当たり20分程度かかるため、予約制で発行事務を行っています。今までに682件の発行を行いました。



**質疑**

環境対策運営費のグリーンニューデール事業による文化センター太陽光発電設備設置工事が翌年度に繰り越した理由と、事業のメリットは何か。

**答弁**

電力会社が行う逆潮流対策が6月までかかるため、系統連係が7月以降となります。文化センターは避難場所となつているため、災害時の必要最低限の電力確保に役立つと考えています。

3月9・10日  
**経済建設委員会**  
報告

**平成28年度小諸公園事業特別会計予算**

**質疑**

懐古園の入園者増加策として駐車料金の実質無料化を2ヶ月間試行するとの事だが、どの様に行うのか。

**答弁**

6月、7月の2ヶ月間試行し、入園料金がどのくらい減るのか、入場者がどう推移するのか前年度と比較したい。駐車場利用者に共通券を渡す予定です。

**質疑**

歳入の土地建物貸付収入に公園事業特別会計に入っているものと、一般会計に入っているものとの差がある。前から指摘しているが、なぜ予算が直らないのか。

**答弁**

懐古園は二面性があり、一つは都市公園としての

憩いの場で行われる商行為等は都市公園条例の中で定めてあり、一般会計の収入となります。

もう一つは都市公園の中に地方公営企業法の観光その他事業が入っており、懐古園の公園事務所が携わり入ってくる収入は、特別会計の収入にしなければならぬため、入口で入園料を取ることが出来ない限り解消することは不可能であり解決が困難です。



**平成27年度小諸市一般会計補正予算(第8号)**

**質疑**

あぐりの湯は、指定管理に係る協定書に基づき市から不足分を補っているといることだが、協定書の見直しや赤字が続く

運営に関しては、話した事があるのか。

**答弁**

このような協定は通常では考えられませんが、農協に赤字が出たら補填することでお願いした経緯があります。

**質疑**

今後、指定管理を公募する際には、赤字を補填する内容を除くべきだと考えます。

**平成28年度小諸市一般会計予算**

**質疑**

松くい虫対策事業費は費用対効果が薄いとのことだが、平成28年度事業は、平成27年度と同じ方法で行うのか。

**答弁**

今までは4月に松くい虫の調査をしたが、対策までに時間がかかるため工期が7月にずれこみ、すでにカミキリムシが出た後に燻蒸をするため全く効果がありませんでした。28年度の事業については、27年度中に調査を始めて1か月程度工期の前倒しを行い、事業の改善を図りたい。併せて、

**質疑**

針葉樹対応のストープを普及させ、松くい虫被害にあう前の松や、すでに被害木となったものを早い段階で薪にして燃やしてしまうという対策を考えている。

**質疑**

特定空き家に関する条例制定に向けた検討は庁内ではどの程度行い、また強制執行する場合の費用等はその様にするのか。

**答弁**

具体的などころまでは進んでいませんが、平成28年度中には条例を策定します。

**質疑**

こもろ愛のりくんへの切り替え後、利用者が減つたままで、試行期間の6か月間で元に戻らない原因は何か。

**答弁**

すみれ号を利用されていた方の中に「登録が面倒だ」と感じている方がいます。今までの利用者まで伸ばすことを大前提として、まちづくり小諸に対し、課題を解決するよう指示しています。

## 柳田市政の行政運営について

### 職員管理と責任をどう考えるか



改革の嵐 代表  
福島 鶴子

野岸小耐震工事未実施問題に対する第三者検証委員会の報告に、専門的知識を有する職員の不在にも一因があるとされている。これについて必要と考えているか。

**市長**

資格を有する職員はいるが、それを必要とする職場に居ないという事情がある。

**質問**

市長は、「今回の責任は市長にある」と明言している。どんな形の責任を考えているか。

**市長**

二度と同じ過ちが起きないよう「事務処理改善委員会」を作り、自治体職員として、有るべき心構え、知識の研修に取り組み。市長の責任もそれなりの対処をさせていただく。

**総務部長**

管理職としての責任の所在も求められる。課長以上1〜3ヶ月の管理職手当を受け取らないという措置をとることとした。

## 柳田市政を振り返って

### 市政経営はどうだったか



新政会 代表  
神津 眞美子

るを得ない判断をしました。ごみ処理施設は単独建設の決断に至りましたが、昨年末に新ごみ焼却施設クリーンヒルもろが完成し、これまで以上に市民の生活環境が向上することを期待しています。

**質問**

併設を表明したときの記者会見で約束された柳田プランについてはどうなりましたか。

**市長**

市庁舎敷地周辺の開発事業を考えておりましたが、種をまくことはできませんでしたけれども、それを育てていくところまではいきませんでした。

**質問**

当初予算で1千700万円余の予算計上されている小諸駅エリアフリー化整備事業ですが、エレベーター設置は多くの市民の願いで、早期完成を要望しています。進捗状況はどうですか。

**市長**

JR・しなの鉄道・小諸市で

正直、そうとも言えない部分は確かにあるが、4年前に比べるると改善されていると感じる。

**市長**

中途退職者が続出している。市役所は、職場として「いきいき働きがいのある明るい職場」となっているか。

**質問**

ご心配の通り、金太郎あめのようになるので、その辺は心していききたい。

**総務部長**

第5次基本構想策定に、シクタンクの力を借りているが、どう考えるか。

**質問**



## 代表質問

29年度完成を決定しています。要望に応え、病院開院前に間に合わせるように申し送ります。

### 質問

野岸小学校管理棟の耐震改修工事未実施検証委員会の報告書では、誤りに気づく機会が何度もあったにも係わらず、見過ごされてきたと指摘されました。

問題は、これが教育委員会に限られたことなのか、あるいは全庁的な組織風土なのか、ということに心配しますが、どのように認識していますか。

### 総務部長

教育委員会部局だけではなく市役所という組織全体、全職員が共有しなければならぬ、改善していかなければならないと思っております。庁内に改善組織を作り、具体的な改善策を検討していくこととしております。

### 質問

他部署との連携を図るよう提言されていますが。

### 総務部長

常に相談できる体制を作るほか、専門的な高度な知見を有する職種については外部人材の活用も含め検討していきます。

## ●柳田市政の4年間と小諸厚生総合病院の再構築問題 ●同和団体への補助金等の考え方は ●子育て世代の経済的負担の軽減をどうすすめるのか

### 質問

市長は、施政方針の中で「新ごみ焼却施設単独建設、新市庁舎と厚生病院併設を苦渋で決断し、心の傷とし残っている」と述べたが、市長に大きな期待をかけて投票した市民の心や気持ちに答えなかった反省や市長選不出馬に一言もなかったことは残念だ。

### 市長

市民益実現のために様々な場面で、政治姿勢や信条、思いを胸に刻みながら市政経営に取り組んできた。

### 質問

厚生連との小諸厚生総合病院移転新築及び運営等に関する基

### 質問

本協定書の第12条には「厚生連は地域の意見を病院運営に反映させるため、厚生病院運営委員会のもとに新たな実務者等による組織を設けるものとする」とあるが、その組織はできているのか。

### 民生部長

具体的設立には至っていない。

### 質問

協定書の2条には「小諸市を拠点とする地域の中核病院として医療機能及び二次救急医療体制を相互協力して30年以上確保することを目指し、医療の公共性と運営の健全性を保持することを基本とした病院運営に努めるものとする」とある。そのため

の医師確保が重要な課題ではないのか。

### 民生部長

医師確保は、極重要な課題だ。

### 質問

あらゆる差別を無くし、人権を尊重したまちづくりをするには、市民の関心を持って取り組

むことが大切。特定の運動団体に補助金を出して解決するものではないと思うが。

### 教育次長

人権問題解決に当たって市民全体で取り組む必要があるが、当事者の主体的活動も重要と思う。

### 質問

経済的に困難な家庭への就学援助制度（新入学児童生徒の学用品等）の支給の時期は10月となっているが、入学に備えるこの時期は経済的困難な家庭に及ぼす影響は大きい。軽井沢町では3月支給になった。小諸市も支給月の変更はできないのか。

### 教育次長

軽井沢町の方法を研究させていただきたい。

### 質問

就学援助の拡大として、社会科見学費、卒業記念品、眼鏡、コンタクト、運動着、修学旅行費、卒業記念アルバム費用などが加えられている自治体もある。参考にしてはどうか。

### 教育次長

紹介をいただいたので、その辺を調べてみたい。



日本共産党 代表  
早川 聖



## 第5次基本構想の着実な推進を 平成28年度予算編成の基本的な考え方は



市誠会 代表  
山浦利夫

### 企画課長

地区懇談会を継続していくことが非常に重要だと思います。継続した地区懇談会の活動ができるように市としても積極的に地域にかかわってまいりたいと考えています。また、28年度当初予算に地区懇談会活動の活性化を図るために、新規事業として地区懇談会活動交付金を計上しました。

### 質問

平成28年度予算編成に当たっての基本的な考え方はどうか。

### 市長

将来に向けて健全財政を維持しつつ、喫緊の課題である少子化、超高齢化、急激な人口減少といった課題に立ち向かうため、総合戦略に掲げた具体的な取り組みを着実に進める年になるということを基本認識としました。

### 質問

子育て支援の施策は、県や国の補助の範囲内での対応にとどまっています。市独自として積

極的に取り組むべきだと思うがどのように考えるか。

### 教育次長

子育て支援の充実というのは全国どこでも競争の状態です。総合戦略、子ども・子育て支援事業計画は、随時見直すようになっていきますので、見直しの時期に取り入れていくように努めたいと思います。

### 質問

地域要望等、市民生活に密着した事業は予算にどのように反映されているか。

### 市長

骨格予算という位置づけですが、生活道路等の整備や交通安全対策などは前年並みの予算を確保し、できる限り地域の皆さんの要望に答えられるように努めています。

### 質問

地域要望に corres 応するために関係予算の充実に ついて、どのように考えているか。

### 建設部長

各地区から出された事業申請に基づき、毎年見直しをし、計画的に実施しています。市単独事業につきましては、緊急性、

費用対効果等、優先順位を決めて実施している状況もあることから全て要望に答えられない部分はあると思いますが、今後各区分のみなさんと十分意見交換を重ねながら、真摯に取り組んで参りたいと思います。

### 質問

健全財政の維持にどのように取り組んでいくのか。

### 市長

基金や市債に依存した財政構造からの回避が最優先事項であり、今後の基金残高は標準財政規模の40%を下限に、市債残高は200%を上限とする基準を設定しています。総合戦略による移住・定住促進や企業誘致など、自主財源の強化のための事業は着実に進めることが重要だと思います。

### 意見

健全財政は、地域に活力があつてこそ維持できると考えます。歳出の削減だけではなく、健全性に十分な考慮をした上で、少子高齢化や人口減少などの諸課題に対応した事業に計画的に積極的な取り組みも必要だと考えます。

### 質問

運用していく仕組みについて具体的にはどのように考えているのか。

### 質問

策定された基本構想を着実に推進していくことが重要だと思いますが、運用の仕組みづくりをどのように考えているか。

### 市長

策定段階より運用の段階を意識して様々な策定作業に取り組ましました。地区懇談会を開催した旧町村単位の10地区の枠組みは、基本構想策定後の参加と協働のまちづくりを進める一つの枠組みとして、想定したもので

### 質問

運用していく仕組みについて具体的にはどのように考えているのか。



創正会 代表  
竹内 健一

## 「市長総括」

### 平成28年度新規重点事業」は何か

**質問**

市長4年間の総括としての見解はどうか。

**市長**

新ごみ焼却施設の単独建設、新市庁舎・厚生病院の市庁舎敷地での併設を巡る一連の政治決断から始まり数多くの施策・事業に取り組んできた。今後はこれら礎の上に、実践を積み重ね発展していくことが、小諸市の進むべき道と考えている。

**質問**

小諸市が持続可能な自治体としてあり続ける為に何が重要か。

**市長**

「人口減少の克服・自主財源確保・参加と協働のまちづくり」の3点が特に重要な取り組みと考える。

**質問**

新年度の予算編成の考え方と事業の優先順位はどうか。

**市長**

予算編成は、これまで膨らんでいた予算規模を平常モードに戻し、総合戦略としての重要な年となるため、その認識で編成に当たった。

**質問**

優先順位は全ての部局で前年度評価し、事業の縮小・廃止を含め徹底した見直しを行い施策内の事業の順位付けを行った。

**質問**

新規事業を市民益へと、どう反映していくのか。

**市長**

主な新規事業はパスポート発給・住民票等のコンビニ交付・産後サポート助成・農産物ブランド化等、市民周知と活用を促し、その効果については随時検証していくことが重要と考える。

**質問**

新年度重点事業は何か。

**市長**

移住補助金を大幅拡充した「移住・定住促進事業」、企業への雇用創出のための「商工業総合振興事業」等、また野岸小学校の耐震化未実施への予算措置である。

**質問**

現厚生病院の後利用はどのように考えているのか。

**民生部長**

協定書にも両者で協議となっており、しつかり協議していく。

**質問・提案**

女性活躍社会として、「育児施設整備を充実させて就労できる仕組みづくり」のため、子育てしている母親へアンケート等で分析をしたらどうか。

**民生部長**

「市民意識調査」に取り入れる等、検討する。

**質問**

団塊世代ジュニアの介護離職が今後10年後の課題であり、懸念されるが取り組みはどうか。

**民生部長**

団塊世代が後期高齢者になる

のを見越して、介護保険計画を3年ごとに見直しているが、国の介護離職ゼロの動向を見ながらさらに検討していく。

**質問**

介護福祉士に志願する学生に対し、奨学金制度を独自確立し、返還免除して、今後起きうる人材不足への対応策とならないか。

**民生部長**

介護の人材不足は平成37年がピークと考えられ、奨学金制度は難しいが、今後研究していく。

**質問**

第5次基本構想で市が示した各地域特性を活かしたゾーン化は、創正会もまさしく同じ考えであり、中心市街地だけが潤うことではなく郊外地まで公平な事業配分となると考えるが。

**総務部長**

ネットワークで有機的に結合されてトータルとして住みやすい地域になることが重要である。

**質問**

幹部職の退職で市民益を損なっていないか。

**市長**

3月の定期異動にて人事をするので了解願いたい。

安心して安全に暮らし続けるために



公明党 代表  
柏木今朝男

質問

資源配分方針の「自主財源の確保に最大限努めること」は、どのような新年度予算案に反映されているのか。

市長

新たに信州小諸ふるさと応援寄附金事業を設け、寄附金に係る宣伝方法や返礼品の内容を見直し、寄附金の増額を図る。

また、小諸市版総合戦略に基づく移住・定住人口の増加を図るための各種施策や、企業立地の推進など、効果は直ちに現れないものもあるが、将来の市税収入の増加につながる事業を積極的に推進することにより、自主財源の確保につなげたい。

質問

総合戦略の取り組みについては、国の新年度予算案において、地方負担分に対しても財政支援を行う考えであり、自治体の創意が厳格に問われ、今後は戦略の実効性が厳しく問われる。

例えば、奨学金制度の拡充や妊産婦の医療費無料化など、具体策をしっかりと打ち、何としても小諸市の明るい未来のために創意工夫して、積極的に事業展開を図るべきではないか。

総務部長

しっかりとマーケティングをし、有効な施策として組み立て、交付金へとつなげることを真剣に考え、臨まなければならぬ。

質問

国土強靱化地域計画を、早急に策定、公表すべきではないか。

市長

県や県内の策定済み自治体の計画について、情報収集などを行い、策定に向けて研究していきたい。

個人質問

『同情するなら金送れ』  
ふるさと納税 勝ち組になるために



高橋 公  
(市誠会)

質問

勝ち組になるための戦略は。①ふるさとチョイスの使用は。②地元作業の民間委託は。③海の幸がある姉妹都市（滑川・大磯町）の活用は。④返品品の開発、「世界一のお米」・手打蕎麦の機械・浅間山の香炉の復活などあるが。⑤企業対策に、人間ドックなど福利厚生の商品は。⑥自虐的なネタで同情を誘う。『同情するなら金をくれ』を地で行ってほしい。

市長

①今年度途中から開始予定。②協力して頂けるのではないかと。③ふるさと納税の目標値を、28年5千万円、29年2億円、30年3億円としてはいかがか。

企画課長

②ちよつと想定していなかったが、検討してみたい。③海と山なのでぜひ検討したい。

経済部長

④小諸のお米全体のブランド化で、ぜひこれは進めたい。香炉はいいものなので、もう一度再検討してみたい。

民生部長

⑤オール小諸で、検討したい。

質問

ふるさと納税の目標値を、28年5千万円、29年2億円、30年3億円としてはいかがか。

総務部長

今日からでも早速全庁的に取り組まなくちゃいけない。

順位	平成27年度（4月～9月）ふるさと納税実績（万円）	
1	飯山市	96,380
2	安曇野市	39,965
18	小諸市	292
町村	豊丘村	31,765
	喬木村	24,184
姉妹都市	滑川市	553
	大磯町	25

# 「今後のまちづくり」「農地の有効活用」 「小諸消防庁舎」についてはどうか

質問

今後どのようにコンパクトシティ構想を推進していくか。

市長

図書館や市民交流センター、市庁舎、そして小諸厚生病院への新しい人の流れをいかに中心市街地の活性化につなげるか、また、市役所周辺施設、病院と中心商店街が連携し、いかににぎわいを創出していけるか、ソフト面を含めた取り組みが重要です。

こうした観点から人口減少により空洞化している中心市街地ににぎわいを取り戻すための方策について、今後、作成を進める立地適正化計画の中で検討し



丸山正昭  
(市誠会)

ていくべきと考えています。

質問

所有者が耕作できない農地の有効活用について、どのように考えているか。

市長

市内旧町村単位の7地区で作成している「人・農地プラン」を活用しながら、担い手に農地を集積するなど、農地の有効活用を図っていきます。

質問

小諸消防庁舎移転計画の見通しはどうか。

市長

新しい庁舎は将来的にも充実した消防機能を有するものでなければなりません。また、佐久広域消防体制の中核的な役割を果たせるものでなければならぬことから、移転、新築案が適当であり、その方向で検討しています。

地域の安全、安心確保のため、早急に結論が得られるよう取り組んでいきます。

# 小諸市6次産業化拠点施設(道の駅)整備について その狙いと課題は

質問

計画している施設は、道の駅をイメージしてよいか。

市長

小諸市の中の観光施設へお客さんを誘導するように、単なる道の駅だけではなく複合的なテーマパークも交えたような、お客さんと呼べる施設を小諸でぜひ欲しいというふうを考えていました。まさに道の駅の総合版という形で考えておりました。

質問

6次産業化拠点施設整備の狙いは。

市長

第一義的には農業振興のための施設であり、農家収入向上の

ための施設としています。拠点施設が核となり商品の魅力等の情報を発信することで、販売量販路の拡大につながることが期待されます。

集客のための魅力は農産物に限られることではありませんので、観光の魅力発信や体験活動の提供を通じて、地方創生の機運の高まりや引き続き道の駅の人気等に応えられる施設となることも想定しています。

質問

施設整備を進める上での課題は何か。

市長

企業経営感覚を持った経営の方針を決めていくことが必須であり、現在の道の駅人気等のチャンス逃すことなくスピード感を持った取り組みとすることも重要な点だと考えています。加えて、6次産業化の手法による特産品の開発やブランド化などが急務と考えています。



小林彦  
(市誠会)

## 職員服務規程状況はどうか 浅間山麓高地トレーニング構想はどうか



清水喜久男  
(新政会)

**質問**

年度途中に退職者が相次いでいるが、退職願提出日の規定は定めてあるのか。また、提出後5日以内に退職し組織や職場が混乱しないか疑問です。近隣の市町では服務規程で退職日の1カ月前に退職願を提出することと定めているが、小諸市も服務規程に退職願提出日を規定したかどうか。

**市長・総務部長**

退職願の提出期日については特段の制限はありません。総務部長として服務規程に定めることは同様に思っています。

**質問**

農産物ブランド化の事業内容

はどうか。

**市長**

ワイン用ぶどう栽培奨励補助を開始し、6次産業化推進員による生産者グループへの栽培指導も実施しています。

**質問**

高地トレーニングエリア構想に向けた予算付けはどうか。

**市長**

エリアを活用した健康づくりイベントの経費とランニングに適した未舗装道路の補修工事費324万円を計上しています。

**質問**

菅平高原と峰の原高原が協力して高地トレーニングエリアの整備を進めているが、競合する他市の状況をどう捉えているか。

**企画課長**

浅間山麓高地トレーニングエリア構想小諸市構想推進基本方針により進めます。28年度は骨格予算なので大きい工事は計上していないが、周囲の自治体とも連携して進めます。

## 公共交通政策は基本計画を持って進めよ！ 市役所駐車場はわかりやすい工夫を



掛川剛  
(日本共産党)

**質問**

予約制相乗りタクシーの試験運行では多くの要望が寄せられている。新公共交通システムの本運行は4月から行うのか。

**市長**

依然として問い合わせや不安の声が寄せられていることから予約制相乗りタクシーは6か月間延長、定時定路線運行は6か月間試験運行とし、10月から本運行を行う見込みです。

**質問**

公共交通の本来あるべき姿を実現する道筋として、公共交通分野での基本計画に基づいて進めていくのが本来のやり方だ。すみれ号運行の時はしっかり

した5年間の基本計画があつて運行してきた。26年度以降の基本的な計画はあるのか。

**建設部長**

現在、新たな計画策定に着手している段階です。

**総務部長**

市民との合意形成なしに計画を進めるといふことはあつてはならない事だと思えます。

**質問**

市役所駐車場がわかりにくく事故の心配もある。課題解決にどう取り組んでいくか。

**市長**

苦情を多くいただいている。利用しやすい駐車場運営に向け適切な対応に努めたい。

**指摘**

新たにできる中央西駐車場も狭くてわかりにくい構造だ。迷いや衝突などの事故が心配。厚生病院は行きにくいなどの理由でほかの病院へ行かれては本末転倒だ。病院との協議もすすめるながら良い駐車場にすべき。

## 「クリーンヒルこもろ」の運営について 人口減少とその戦略について

質問

「クリーンヒルこもろ」が地元菱野区をはじめ、多くの市民のご協力により本年1月4日に供用開始を迎えることができた。誠に感慨深いものがある。

2ヶ月経過して施設の運営状況はどうか。

市長

市民の皆様のご理解とご協力により、搬入方法・分別状況ともに良好であると運営業者より報告を受けている。

質問

ごみの減量と環境教育について、どのように進めていくか。

市長

減量化の推進による経済的効



依田善典  
(創正会)

果は重要である。「CO2削減計画こもろ」を策定し、環境意識の高まりと啓発に努力したい。

質問

小諸市が自立的で持続的な自治体であり続けるための対策はどうか。

市長

少子化、高齢化、急激な人口減少という極めて大きな課題に対し、中長期的な視点に立った戦略が必要であり、小諸市版総合戦略として5年間重点的に取り組んでいきたい。

質問

移住・定住をどのように進めるのか。

市長

総合計画における「地方への新しい人の流れをつくる」方策として、住宅を取得するための思い切った補助制度の活用により人口増につながる対策とする。

一方、現在東南部地区を中心とした宅地開発のための調査を行っている。

## 介護予防は 利用者の望む支援ができる体制づくりを

質問

今年の10月から要支援1・2のデイサービスとホームヘルプサービスが、介護保険給付から外され、市町村が実施する日常生活総合支援事業に移されることになっている。

市長

当初は同様のサービスを主体に、介護給付からこの事業に移行していき、それ以外の支援体制は順次構築していく。

今後は、本人の自発性による意欲的な社会参加につなげるとともに、高齢者の自立した日常生活を実現するため、地域で支え合う体制づくりを目指している。

質問

介護認定の手続きを省略し、チェックリストによる迅速なサービス利用につなげるとしているが、利用者の望む支援は受けられるのか。

民生部長

専門職が相談内容をしっかりと聞き取り、確認しながらやっていく。

質問

今まで、梅花教育と言いながら、小諸の教育に関する考え方を示した基本計画的なものがあった。本来それを柱として、学校の改築計画も検討するべきではなかったか。

28年度中に策定するとしている教育振興基本計画と学校長期改築計画はできるのか。

教育次長

今回、野岸小学校の耐震未実施問題が出ているので、もう一度全体的なスケジュール等も考え、見直して決めていきたい。



柏木博美  
(日本共産党)

28年度中に策定するとしている教育振興基本計画と学校長期改築計画はできるのか。

## 小諸市における地域包括ケアシステムとは



土屋利江  
(公明党)

ク(ネットフォーユー)を小諸北佐久内で今年度中に立ち上げ現在69件加入しております。

### 質問

若年性認知症への取り組みは。

### 市長

高齢者の認知症と状況が異なり、働き盛りや子育て中であるため生活費や子どものこと等問題が多岐にわたり、発症初期の段階から適切な支援が受けられる体制整備が必要です。

認知症への早期対応・支援を行うため認知症初期集中支援チームの活動準備をしています。

### 質問

認知症カフェの状況と開設のための補助はどうか。

### 民生部長

1月に相生サンテラスがオープンしています。

空き家などを利用して昼食会や茶話会が進んでいって地域の中で認知症カフェという形ができればと思います。開所のための補助金は、20万円です。

### 質問

多職種との連携はどうか。

### 民生部長

医療・介護の情報ネットワーク

## 野岸小学校耐震補強工事未実施に関する不祥事の 検証委員会報告書の実態について



中村憲次  
(新国会)

ある」との答弁があった。しかし、野岸小学校では耐震工事が実施されず、市内小学校全体で7億7千万円余の工事費で実施されている。この金額の差について、当時の市長に聞き取り調査はしたのか。

### 教育次長

当時の市長に聞き取り調査はしておりません。差額については、設計費等が含まれているかと思えます。

### 質問

公文書の建物台帳に未実施でありながら「実施済」として具体的数値を記入した根拠は何か。

### 市長

平成8年の耐震診断の結果の数値が根拠となっているが、改修していないのに改修済みとして記入した数値の根拠については、教育委員会内部の調査でも不明であり、検証委員会での調査でも解明することはできません。

### 質問

不祥事問題に対しての検証委員会報告書では、「工事予定はあったが教育次長の議会答弁については根拠がなく誤りでした」とあった。検証委員会で調査した結果、この工事は実施されておらず、内訳は何もございません。

### 質問

平成22年9月議会で当時の市長から「10億円で市内小学校の耐震工事は全て100%実施済みで



# 「オープンデータ」に積極的に取り組むべき！ 「18歳選挙権」「主権者教育」の認識は！

質問

「オープンデータ」について、積極的に取り組むべきではないか。

市長

自治体によるオープンデータの取り組みは、地域課題の解決に向けて市民と現状を共有し、課題を具体化し、その解決策や実現策と一緒に考える上でも欠かせないものであるとの観点から、本市においても、積極的にその取り組みを進めていく必要がある。

質問

「ICT推進」(タブレットの活用など)に、積極的に取り組むべきではないか。



小林重太郎  
(改革の嵐)

市長

資源を有効活用する市政経営の観点から、業務のスリム化、効率化はもちろん、新たな市民サービスの構築、さらには情報セキュリティ対策にもつながるICT(情報通信技術)の活用は、今後の自治体経営に必要不可欠なものであり、本市としても、積極的にその取り組みを進めていく必要がある。

質問

選挙権年齢の18歳まで引き下げを背景として、「シチズンシップ推進」「主権者教育」について、どう認識しているか。

選挙管理委員会委員長職務代理

選挙権年齢に係る変換期にあつて重要な意義があるものと認識している。

小中学生に選挙の啓発ができるよう教育委員会に申し出をしたり、小諸高校での模擬投票への参加や投票機材等の貸し出しで協力するなど主権者教育に取り組んでいる。

# 浅間山麓高地トレーニングエリア構想の本気度を問う！ 公共施設等総合管理計画をどのように考えているか

質問

浅間山麓高地トレーニングエリア構想が持ち上がってから足かけ3年。今後の推進や問題点は何か、本気度を問う。

市長

平成25年に浅間山麓スポーツ医学研究所が発足し、関係団体や自治体が協力して事業展開する組織が動き出した。当初はナショナルトレーニングセンター指定を目指したが、現実的には非常に厳しい状況となっており、大きな目標から状況が変わったが、高地トレーニングの適地を生かした活性化につなげるために推進基本方針を策定した。できるところから着実に進める。



林 稔  
(無所属)

質問

公共施設等総合管理計画の策定をどのように考えているか。

市長

総務省から指針が示されている。現況及び将来の見通しについては3月に「公共施設白書」として公表する。計画は策定することが目的ではなく、いかに実行するかが重要。実行段階においては、施設の縮小、統廃合など痛みを伴う改革を求められると予想され、今後の小諸市の財政を左右するものと考えている。避けては通れない道です。市民のご理解をいただきたい。着実に進めていきたい。



湯の丸高峰併用林道  
標高1,730m~2,040m延長8km

# 議会制度改革検討委員会 報告



議会制度改革検討委員会は、3月定例会までに委員会を6回開催し、協議してまいりました。第2回目以降の主なものを報告いたします。

第2回目では、現在の「議会基本方針」の確認「議員全員協議会に関する規程案」の法令・規則との整合性、「政務活動費の考え方と判例」について協議しました。

第3回目では「議員全員協議会に関する規程」の位置づけ、「政務活動費の考え方」の法令規則

との整合性、「議会基本条例の各市の定義」について協議しました。

第4回目では「議員全員協議会に関する規程」の最終確認、「政務活動費の使途基準」「議会基本条例の当市の考え方」「予算決算常任委員会」の設置について、それぞれの会派の意見等を聴取しながら進めてまいりました。これらの検討の中で「議員全員協議会に関する規程」については、議員の中で共通認識が必要であることから、議長宛てに「提言書」を提出しました。

第5回目では「政務活動費の考え方と判例」について協議しました。政務活動費については、各地で住民訴訟が相次いでおり、政務活動費の使途基準の厳格化の定めが必要なことから「小諸市議会政務活動費使途基準案」を議長宛てに「提言書」として提出しました。

第6回目は先例集の見直しについて協議しました。

## 本会議映像が図書館で視聴できるようになりました(3月定例会分から)

ご利用ください!

市民の皆様へすみやかに情報を提供するため、本会議の映像DVDを図書館に配置しました。本会議開催2～3日後から市立小諸図書館内で視聴できます。利用をご希望の方は、図書館総合カウンターへお申し込み下さい。

なお、この映像は公式な会議録が図書館に配置されるまで閲覧可能です。

## 6月定例会のご案内

- ・開会日 6月6日(月)
- ・一般質問 6月15日(水)～17日(金)
- ・委員会 6月20日(月)～23日(木)
- ・最終日 6月28日(火)

## 議員紹介コーナーへ おいでなんし パート2

質問事項 ①居住地 ②趣味 ③座右の銘 ④つぶやき

### 6番 山浦利夫議員 会派 市誠会



- ①山浦 (宮沢)
- ②ゴルフ・スポーツ観戦
- ③特になし
- ④日々忙しく過ぎていく中、孫や愛犬のラッキーと遊んだり、畑に出て自然と向き合う時が癒されるひとときです。ポジティブ思考で頑張ります。

### 5番 丸山正昭議員 会派 市誠会



- ①滝原
- ②スポーツ観戦、旅行
- ③為せば成る
- ④明日を信じて、美しい心で、美しい人生を送りたい

### 4番 小林一彦議員 会派 市誠会



- ①諸
- ②読書、山菜きのこ採り
- ③至誠にして動かざるものは未だこれ有らざるなり
- ④子どもたちの成長する姿は目覚ましい。私たち大人はどうか…?(6年生と会話して)

3月11日  
第5次基本構想  
審議特別委員会  
報告

今定例会では、小諸市総合計画第5次基本構想の策定にあたり、特別委員会を設置して審議しました。その中で出された主な質疑と答弁、討論を報告します。

◎めざすまちの姿（将来都市像）について

質疑

将来像の文言に「高原の城下町」という表現があるが、これから12年先を目指す都市像として、なぜ、あえてこの言葉を選択したのか。

答弁

「高原の城下町」という表現は、自治基本条例の前文にも使われており、小諸らしさを表わすものとしてあえて用いることとした。

◎めざす地域の姿（地域別まちづくり方針）について

質疑

区の役員が毎年交代する中、この計画をどのように継続していくのか。

答弁

地区懇談会を継続し、

その中で確認や見直しを行い、共通認識を持っていただくよう進めていく。

質疑

子育て・教育について、人間の基礎をつくる幼児教育として、情操教育などのめざす値の設定がないのはなぜか。

答弁

分野別の分科会では、どのような人に育ってほしいかということがテーマであったが、幼児教育の分野のめざす値についてまで、議論にならなかった。

質疑

健康・福祉について、めざす値の「介護満足度」は、実際に介護を受けている方を対象に計るべきではないか。

健康・福祉について、めざす値の「介護満足度」は、実際に介護を受けている方を対象に計るべきではないか。

答弁

市民意識調査だけでは正確な数値はつかめないため、今後、別のアンケート等も検討したい。

質疑

協働について、自治基本条例の認知度が低い、その認識の違いは感じているか。

答弁

地域づくりやまちづくりの活動をしていて、気付けていたら、それが自治基本条例の理念に沿ったものだったという姿が望ましい。

討論

◎政策分野別まちづくり方針の「環境」について

目標の「自然環境を守り循環型社会を進める」という点で、生態系と人との生活の調和という視点が大きく欠落している。ごみだけでなく、CO<sub>2</sub>削減や、有害物質を低減し水と緑を守っていくという環境の捉え方が必要である。

3月11日  
まち再生  
特別委員会  
報告

小諸厚生総合病院から病院再構築の進捗状況について、市から市営中央西側駐車場の新設と新公共交通システムの状況について、報告を受けました。

◎厚生病院からの報告

- ・設計平面図の説明
- ・建設施工業者の決定
- ・建設スケジュール
- ・3月15日着工、平成29年9月30日竣工、12月開院予定



◎市からの報告

- 市営中央西側駐車場
- ・建物 鉄骨造地上3階地下1階
- ・面積 2千㎡
- ・駐車台数 163台
- ・総工事費 5億3千万円
- ・竣工予定 平成29年3月

市庁舎周辺駐車場整備に伴う市営中央西側駐車場の新設について、委員より、駐車場内への案内標識の設置とバリアフリー対策を徹底してほしいとの意見が出されました。

◎公共交通の変更内要

- ・「こもろ愛のりくん」による朝夕の定時定路線の運行
- ・小諸すみれ号は廃止
- ・スクールバス運行は、水明小学校と併せて小諸高校への運行を開始

4月に予定していた新公共交通システムの本格運行を見直し、試験運行を10月まで延長するとの報告がありました。

委員より、今までの試験運行の反省や課題を踏まえて取り組んでほしい

との意見がありました。

◎今後の委員会活動

昨年12月に、市長に提言書を提出したことから、今後の委員会活動について協議しました。

・にぎわいづくり部会

提言書の具現化に向け、小諸市全体のまちづくりを視野にいれて議論を行う段階に入ったと捉え、部会の発展的解消を行い、新たな枠組みで諸課題に対応していく。

・公共交通部会

試験運行が延長したことなど課題が山積していること、将来に向けての公共交通の在り方について研究していく必要があることから、今後も活動を継続していく。

その他、コンパクトシティ構想については、まちづくり協議会（仮称）の設置などの課題があり、協議を行いました。新たな枠組みについては引き続き協議を行い、できるだけ早い段階で活動体系の方向付けをし、諸課題に取り組んでいきます。

# 平成28年度『議会と語る会』を開催します

## 内容

- **報告** (前回の語る会での意見とその後)
- **意見交換** (学校改築計画・公共交通等について)

小諸市議会では、議会の活動や市政の課題等を共有するとともに、市民の皆様から議会や市政に対する提言、意見等をお聞きし、小諸市の発展に活かすため、議会と語る会を開催しています。

今回は、意見交換のテーマを2つとし、分科会でワークショップを行います。お気軽にご参加ください。

■開催日時・会場 ※どちらの会場でも、ご自由に参加いただけます。

開催日	会場	対象地区
5月16日(月) 19:00～	市役所3階会議室	東部・中部・西部・東南部
5月17日(火) 19:00～	御影コミュニティセンター	南大井
5月18日(水) 19:00～	諸公民館	大里
5月19日(木) 19:00～	J A 佐久浅間 北大井支所	北大井
5月20日(金) 19:00～	久保公民館	川辺
5月23日(月) 19:00～	J A 佐久浅間 三岡支所	三岡
5月24日(火) 19:00～	糠地公民館	西小諸
5月29日(日) 13:30～	市役所3階会議室	全地区対象



## 編集後記

議会だよりの編集委員は私を含めて8人で構成しております。公平・中立性はもちろんであり、個人情報への配慮をしつつ、一字ずつチェックし、校正など活発に編集作業をしております。市民の皆様は「見やすく、読みやすく、わかりやすく」をモットーに委員長以下努力をしておりますがいかがでしょうか。できるだけ専門用語や行政用語は控えるようにしてありますが、議会報告の観点からやむを得ない部分もあります。ご理解いただき、ぜひともお読みいた

たきご意見、ご要望をお聞かせください。

さて、3月定例会一般質問では、未来を見つめる多くの瞳が新議場を盛り上げてくれました。坂の上小学校6年全員の傍聴です。引率の先生にも感謝します。この中から将来議員が誕生することでしょう。

傍聴人アンケートにもありましたが、パネル使用についても改善しつつ、多くの皆様の傍聴をお待ちしております。

(寿)

## 傍聴席



東区 堀田 峯生 さん

小諸市に住んで5年半。現在地が終の棲家になる。気付けば喜寿の齢。この地に同化して更なる自分の出来ることを探る毎日。発心して初めて市議会の

傍聴を思い立った。3月2日新装なった4階議場へ。受付からの連絡か、待っていた職員の内、案内傍聴席へ。

折しも2期目の女性議員のKさんが発言中。傍聴席に入って右側に突き当りまでの椅子席、正面に議長、右側に市民の代弁者の市議、左側に市職席で資料を把えて勢揃い。左右の壁面上部に質疑60分カウントダウンの大きなデジタル時計。見知った顔の市議3名。深呼吸して着席。持ち時間15分切ったKさん詳しく調べた資料を披げ発言中。市議も職員も議事に集中して好感が持てた。議場に金かけ過ぎという市民もいたが、質素で無駄のない議場だ。今夏から18歳からの参政権が実施される。「世直しの力は、若者、よそ者、変わり者にある」とは元世銀副総裁の西水美恵子さんの言葉。具体的市議会の討議を直接見聞きするのはとても大切で、世直しの原点と言ってもよい。時間のとれる限り傍聴することを心に決めて議場後にした。

